

コラム

みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.33

新しい日常を生きる⑫ ～諦めない心が生きる力となる～

かかりつけ医がコロナワクチン接種を引き受けてくれたため熾烈な接種予約地獄を回避でき、無事に7月中に2回とも接種できるようにと大事をとって7月はあくせく過ごさないことにしていました。急ぎの納品はないし（ないように調整済み）、あとは体調を万全に整えて接種をすませるつもりです。

1年の半分が経過しなんだか騒々しくなったような気がします……日本各地でゲリラ豪雨、梅雨明けと共に猛暑となり熱中症のリスク、東京五輪が近づいているのにコロナ感染拡大深刻化（7/20現在）、プライベートでは友人知人間で不幸が相次ぎ、お盆の準備もありましたし（無事に終了）……憂鬱なこと（お盆以外）ばかりでのんびりとはいかない7月です。

世界中の誰もがこんなにコロナ禍が長引くとは思わなかったのではないのでしょうか。2度目のコロナ夏を迎えた現在、度重なる緊急事態宣言発令の影響で閉店を余儀なくされた飲食店は多くありますし、コロナ禍による倒産、失業、自殺、差別などは依然として看過できません。だからといって、「もう限界！」とばかりにお酒をもとめて緊急事態宣言がだされていない街に移動してのむ「越境のみ」やお店がだめなら路上で集まり「まわし飲み」するのはどうかと思います。

そんな中、アメリカメジャーリーグで奮闘している大谷翔平選手の活躍は、コロナをふっとばすような爽快さ！キュートだし見ているだけで幸福な気持ちになります。ワクチン接種率が高いアメリカ、野球場の興奮した状況を見るのは嬉しい反面、マスクなしで大丈夫なの？という不安もありますが、ともあれ喜ばしい限り。こういうワクワクした高揚感がコロナ禍の現在は必要なのは言うまでもありません。まさに国民を歓喜へと導いてくれるヒーローです！

20代の若き青年が海を渡り、自らのバットとボールで前人未踏の快挙をなしとげるパフォーマンスをみると、どんなに厳しい状況におかれても諦めない心を持ち続けることが、大事だということを思い出させてくれます。

オータニさんをテレビでみる時、テンションがあがる方は少なくないはず。「何でもできる人」と賞賛をあげ

ている彼は、皆の期待にこたえるよう（重圧も大きいでしょうが）精一杯の努力をしていることでしょう。がんばれ～オータニさん！

不要不急の外出制限下では、テレビが友達。オータニさんがでていない日は、日曜日夜9時放送の「TOKYO MER ～走る救急救命室～」の「絶対に死者をださない医療チーム」の奮闘ぶりに興奮を覚えています。緊急警報がはいると手術室を装備した最新鋭の救急車で駆けつけ、医療行為だけでなく警官や消防士たち顔負けの救命行為をおこなう型破りの救急救命医・喜多見幸太（鈴木亮平）の勇姿をみて胸が熱くならない人はいるでしょうか？ 悲しいことに医療従事者たちの奮闘むなしくコロナで生命を落としている人々が後を絶たないだけに、「待っているだけでは救えない生命がある！」をモットーにした「諦めない彼等」の姿に励まされます。

7/18放送回では、シングルマザーの女性ナース（菜々緒）が娘の通園する幼稚園から「医療従事者の家族だと感染が心配だから娘に通園しないで欲しいと保護者から意見がでていいる」といわれるリアルなシーンがありました。この意見に従うとこのシングルマザーは娘をどこに預ければいいのか。預け先が見つからないと生命を救う現場で働けない→ 深刻な医療従事者不足に拍車をかけることになる、というのにです。緊急時だからこそ、考え方の幅を広くもっていききたいものです。

余談ですが、このドラマをみていて、私の身近にいる行動する医療者の一人、みやちゃんのことを思いました。

【待たずにお届け進めていると】

地域の人々の反応は千差万別でとても人間の多様性で楽しいものである。だいたい人は自分の考えというか結論をもっているから何で届けているの？に対して

- 1) コロナ感染防止だから？
- 2) 薬局も大変だから？
- 3) 奉仕精神？
- 4) 助かるけどただで大丈夫なの？ → かかりつけ報酬の話になるとよく理解してもらえる
- 5) うち絶対には来てほしくないもあり。

いろんなことをおっしゃるので、それに呼応して話しているのがまた楽しい……否定も肯定もない。私もそうした方がいいと思っているんでって。でもすごく色々な町の事情にくわしくなったよ、さらに。今までは夜のごはん屋さんだったり、食べ物屋さん中心だったりしたけど、あ～、この隣がここなんだとか結構お家きれいに凝ったつくりをしているなあとか。表札が工夫されているなあ

とかお花丁寧に手入れしているなあとか。ああこれではお薬もどっかいっちゃうかなあとか、色々。

偉大なるおせっかい症候群は成長しています。どっかのお医者さんみたいにたまたまお医者さんで私はたまたま薬剤師だったのかって。でも街は次のきっかけが何なのかの出口戦略がなくしおれている。ビジョンハッカーにならなくっちゃ。それにしても最近頭が疲れることが多い。明日は土曜日、また一日がんばろうっと。

今年の日本アカデミー賞優秀作品賞にノミネートされた「浅田家！」もすばらしい作品でした。未見の方のために詳細は省略させていただきますが、プー太郎の次男（二宮和也）がカメラマンになる夢を諦めず、カメラひとつで家族を幸福にするハートウォーミングストーリーです。長く自分探しをしていた彼は「家族を撮り続ける写真家」として成功し、写真を通して家族の過去、現在、そして未来をつなぐ貴重な仕事をします。

自分史活用アドバイザーとして自分史作りをお手伝いしていることもあり共感度大。ちょっと変わった家族のカタチ・絆にストレートな感動を覚える、おかしく気持ちのいい作品です。

感動的なお話や作品などをたくさん見て、現在を生きる力に変えていきたいですね！

★日曜劇場『TOKYO MER～走る緊急救命室～』 | TBSテレビ

★映画『浅田家！』公式サイト (asadake.jp) | 2020年10月2日劇場公開